

資料 1

平成31年1～令和元年12月の火災概況【確定値】

令和元年中の長崎県内の火災件数は425件、死者数は24名、損害額は735,268千円、り災世帯数は231世帯、り災人員は542名でした。

これを前年と比較してみると、火災件数は112件減少、死者数(注)は3名減少、損害額は585,395千円の減少となっています。

区分	令和元年(A)	平成30年(B)	増減 A-B=C	増減率(%) C/B×100
出火件数	425	537	△ 112	△ 20.9
(建物)	206	225	△ 19	△ 8.4
<住宅>	116	132	△ 16	△ 12.1
(林野)	28	38	△ 10	△ 26.3
(車両)	36	37	△ 1	△ 2.7
(船舶)	3	8	△ 5	△ 62.5
(その他)	152	229	△ 77	△ 33.6
焼損棟数	357	340	17	5.0
り災世帯数	231	215	16	7.4
り災人員	542	537	5	0.9
焼損面積 (建物(m ²))	15,719	13,742	1,977	14.4
(林野(a))	120	168	△ 48	△ 28.6
損害額(千円)	735,268	1,320,663	△ 585,395	△ 44.3
死者	24	27	△ 3	△ 11.1
<65歳以上>	19	12	7	58.3
<住宅> 放火自殺者等を除く	18	16	2	12.5
負傷者	40	57	△ 17	△ 29.8

注) 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

○出火原因(ワースト5)

年度	1位	2位	3位	4位	5位
30年	たき火 (139)	放火 (34)	たばこ (30)	コンロ (27)	電灯電話等の配線 (25)
元年	たき火 (101)	コンロ (25)	たばこ (24)	放火 (18)	ストーブ (15)

注1) 畑で枯れ草等を燃やす場合も「たき火」という。

注2) 「放火」には、「放火の疑い」を含む。